

令和5年度事業計画概要

児童養護施設 歌棄洗心学園 本園 定員70名
地域小規模施設 定員 6名

1. 事業方針

児童憲章の精神に則り児童が正常な社会人として生活できるよう指導助言する事を運営目標として、その目的達成のため指導体制及び環境整備の確立を図り、施設運営の安定化を図るため、入所児童の促進に努めるとともに、効果的かつ計画的な予算の執行に努める。また、職員の資質の向上のために、園内研修の実施、研修会等への積極的参加につとめるとともに福利厚生の実施を図り、職員の定着化に努め、更に関係機関との連携を密にし、オンブズマン並びに苦情解決委員会との連携を図り健全な施設運営に努める。

「児童養護施設運営指針」の基本的な考え方にに基づき、児童の権利擁護と施設実践の情報公開によって児童養護施設の専門性を確立し、地域住民、教育機関、行政機関との相互理解を深めつつ、連携を図り従来以上の利用並びに地域開放に努め、地域小規模施設、施設内グループケア等を含め、社会的児童養護施設としての役割を促進し、より家庭的児童養護に近づくよう努力し、目標を達成するため児童の健全なる心身の発達を目指す。

2. 今年度の重点目標

- ① 児童が安全で快適な生活ができるよう、環境の整備に努める。特に中学3年、高校3年児については、進路指導に重点を置き、将来に夢と希望を持たせるよう積極的な指導助言に努める。
- ② 児童の健康管理には十分配慮し、栄養バランスと衛生管理に留意し、健康な心身の発達に努める。
- ③ 地域社会との連携を図り、社会の一員としての自覚と認識を高め、連帯と協調の精神を養うよう努める。
- ④ 学校との連絡を密にし、指導の一貫性と相互の理解を深め、学習意欲と創造性豊かな児童の育成に努める。
- ⑤ 家庭との連携を図り、児童に不安をいだかせぬよう指導助言に努める。
- ⑥ 余暇指導をとおして児童の情緒安定を図るとともに、集団生活の基礎的訓練、心身の関連と社会見学の実施により、豊かな知識を体得するよう努める。
- ⑦ 保育の原理に沿って、子供達が豊かに伸び伸びと生活し、いろいろな体験の中で個性を伸ばし、創造性・道徳性を養うよう努める。
- ⑧ 退所した児童に対し、個々の状況に応じ必要な援助を行うことにより、社会的な自立を支援する。

3. 児童・職員の状況

令和5年度の入所状況は、本園90%及び小規模施設100%の見込みであります。

また、職員は、本年度当初に2名を採用し、全体では44名の体制で業務を遂行して参ります。

令和5年3月28日
社会福祉法人 徳美会
理事長 徳野幸代